

歴史講座 中世品川のまちと寺社		
日時	令和2年2月29日・3月7日・3月14日（土曜日 全3回） 14:00～15:30	
会場	講堂	
講座内容 (第1回)	「鎌倉殿源頼朝と関東武士団」 関 幸彦（日本大学文理学部教授）	受講者数 - 名
講座内容 (第2回)	「中世品川のまちと寺社」 柘植信行（品川歴史館専門委員）	受講者数 - 名
講座内容 (第3回)	「品川神社の縁起—品川神社文書を通して—」 永山由里絵（品川歴史館学芸員）	受講者数 - 名
		延受講者 - 名

【事業趣旨】

鎌倉時代の初め、源頼朝は、安房国（千葉県）から品川に洲崎明神を勧請した。これが品川神社（品川区北品川）の起源と伝わる。品川地域における寺社、なかでも品川神社の歴史に焦点を当て、源頼朝と品河氏など武士の動き、中世品川のまちの様相、そして品川神社の縁起を紹介する講座を企画したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催を中止した。